

涌谷町プレミアム付商品券を 発行します



消費税率10%への引き上げが家計に与える影響を緩和するとともに、地域の消費を下支えします。

《購入対象者》

- 平成31年度住民税(均等割)が課税されていない人。ただし、住民税課税者の扶養となっている人(生計を一にする配偶者・扶養親族を含む)、生活保護を受給している人は除く
- 小さな乳幼児のいる子育て世帯主(平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子どもがいる世帯の世帯主)

《商品券の内容》

- 1冊あたり千円券×5枚綴り(額面5千円分を4千円で販売)
- 購入限度額
 - ・住民税非課税の人、1人あたり総額2万5千円(販売額2万円)
 - ・小さな乳幼児のいる子育て世帯主、1人あたり総額2万5千円(販売額2万円)×対象児童の人数

《商品券の販売期間》

- 令和元年10月1日から令和元年12月27日まで

《商品券の販売場所》

- 町内3カ所の郵便局(涌谷・小里・猪岡の3カ所)

《商品券の使用期間》

- 令和元年10月1日から令和2年2月20日まで

《使用店舗》

涌谷町・美里町のプレミアム付商品券取扱参加店

《購入・使用上の注意事項》

- 購入引換券がない人は、購入できません。
- 購入引換券に記載された氏名の本人または家族などが購入できます。簡単な身分確認をします。
- 購入は、1冊単位で購入できます。限度額分を一度に購入することもできます。
- 券面額に満たない使用でも、釣り銭は支払いません。
- 商品券などの換金性が高いものは購入できません。売買・譲渡・再販売・再利用もできません。

- 使用期間終了後の使用はできません。また、未使用券の払い戻しはできません。
- 引換券・商品券の再発行はできません。

《購入対象者への案内》

【住民税非課税(購入対象者)】

プレミアム付商品券を購入する場合、購入引換券の交付申請が必要です。対象者には購入引換券の交付申請書を8月中旬に送付しております。

交付申請書を熟読・必要事項を記入の上、同封の返信用封筒で、11月29日(金)までに必着で返送してください。

【子育て世帯主(購入対象者)】

プレミアム付商品券を購入する場合、購入引換券の交付申請は不要です。

交付決定後に購入引換券を送付します。9月下旬～10月下旬に随時購入引換券を郵送します。

プレミアム付商品券取扱参加店を募集

プレミアム付商品券を利用して買い物やサービスの提供が可能な、町内で営業する店舗などを募集します。下記のいずれかの方法で申し込んでください。登録料・換金手数料は無料です。

美里町・涌谷町2割増商品券加盟店は、登録済のため新規の登録は不要です。

《申込方法》

FAX・郵送・持参のいずれかの方法で、遠田商工会涌谷事業所に申し込んでください。

住所：〒987-0114 涌谷町字新町裏110

FAX：0229-43-3341 TEL：0229-43-3450

《申込用紙》

遠田商工会涌谷事業所に用意しています。

問い合わせ先

涌谷町役場企画財政課 ☎43-2112

役場各課・施設・団体の電話番号

■ 議会事務局	☎ 43-2127
■ 総務課	☎ 43-2111
■ 防災交通班	☎ 43-2116
■ 企画財政課	☎ 43-2112
■ 町民生活課	☎ 43-2113
■ 税務課	☎ 43-2114
■ 会計課	☎ 43-2118
■ まちづくり推進課	☎ 43-2119
■ 農林振興課(農林振興班)	☎ 25-8511
■ 農林振興課(農産園芸班)	☎ 43-6910
■ 農業委員会事務局	☎ 43-2120
■ 建設課	☎ 43-2129
■ 上下水道課	☎ 43-2131
■ 教育総務課	☎ 43-2140
■ 生涯学習課・ 涌谷公民館	☎ 43-3001
■ 町民医療福祉センター	☎ 43-5111
□ 健康課 □ 福祉課 □ 総務管理課 各課共通	
■ わくや天平の湯	☎ 43-6330
■ 天平ろまん館	☎ 43-2100
■ くがね創庫 ☎	43-6066
■ 涌谷町シルバー人材センター	☎ 44-1710
■ わくや子どもの心のケアハウスコンパス	☎ 25-7307

9月の納付と納期限

決められた納期限まで納付しましょう！

国保税	第3期
介護保険料	第3期
固定資産税	第3期
後期高齢保険料	第3期
上下水道料金	9月分

9月30日(月)まで

防災行政無線テレフォンサービス

聞き逃した直前の防災行政無線の内容を確認できます。

☎0800-800-9949(無料通話)

さまざまなお悩みに合った相談窓口を開設しています

相談名	日時	場所	相談内容	問い合わせ先
人権相談	9月10日(火) 10:00~15:00	役場本庁舎 2階大会議室	虐待や差別、いじめなどの人権問題。	
行政相談	9月10日(火) 10:00~12:00	役場本庁舎 2階大会議室	国、県、町の行政全般についての苦情や意見要望。	町民生活課町民生活班 ☎43-2113
消費生活相談	毎週月・木曜日 9:00~17:00	町民生活課 町民生活班	クーリング・オフなどの消費生活に関する悩みや疑問。	
もの忘れ相談	月曜日~金曜日 9:00~17:00	町民医療福祉センター	本人、家族のもの忘れや認知症に関すること。	福祉課包括支援班 ☎43-5111(内線514)
生活相談	9月25日(水) 13:00~15:00	ゆうらいふ館 岳地域ケアセンター相談室	日常生活上の心配ごとや困りごと。	涌谷町社会福祉協議会 ☎43-6661
青少年相談	月曜日~金曜日 9:00~17:00	涌谷公民館	青少年非行の早期発見、青少年の悩みなどの相談に関すること。	青少年相談室 ☎43-5191
栄養相談	9月19日(木) 9:00~17:00	町民医療福祉センター	食事と栄養に関することならなんでも気軽に相談ください。	健康課健康づくり班 ☎43-5111(内線510)
精神保健福祉相談	9月27日(金) 14:00~	大崎合同庁舎 2階診察室	心の悩みを抱えている人の相談に応じます。	北部保健福祉事務所 (大崎保健所) 母子・障害第二班 ☎87-8011 ※相談は予約制です
思春期・青年期引き込み相談	9月30日(月) 13:00~	大崎合同庁舎 2階相談室	自宅に引きこもっている人やその家族の人の相談に応じます。	
アルコール関連問題相談・家族教室	9月3日(火) 11:00~	大崎合同庁舎 2階相談室	アルコールやギャンブルなど複雑な問題で困っている人の相談に応じます。	
障害者福祉相談	月曜日~金曜日 8:30~19:00	結の郷わくや	身体・知的・精神の3障害の相談に応じます。土曜日(8時30分~12時)も受け付けます。	涌谷町基幹相談支援センター(結の郷わくや内) ☎25-9675
農家相談	9月5日(木) 9:00~10:30	役場まちづくり会議室	農地の移動や転用、農業者年金などについて、農業委員と農業委員会事務局が相談に応じます。相談に応じる農業委員は、及川ふじ子委員、黒澤長一委員、手嶋一郎委員です。	農業委員会事務局総務班 ☎43-2120
農業委員会総会	9月27日(金) 9:00~	役場大会議室	農地利用の許可申請について農業委員が協議します。どなたでも傍聴できます。	
夜間納税相談	9月25日(水) 17:15~19:00	税務課納税班	納税にかかわる相談に対応します。	税務課納税班 ☎43-2114



肺炎球菌予防接種は お済みですか！？

今まで成人用肺炎球菌ワクチンを接種していない人を対象に2019年度から2023年度までの5年間に1人1回、定期接種の機会を設けています。

対象者が定期接種を受けられるのは、該当する年度の1年間のみに限られています。定期接種を希望する場合、必ずこの期間に受けてください。

▼接種可能な医療機関

医療機関	電話番号	曜日	電話受付時間
岡本病院	☎42-2876	月曜日～金曜日	9時～12時
東泉堂病院	☎42-3333	月曜日～土曜日	8時45分～12時
		月曜日～金曜日	14時～18時
米谷医院	☎44-1133	月曜日～土曜日	9時30分～11時30分
		月・火・木・金曜日	14時30分～17時30分
宮野内科医院	☎43-5031	月曜日～土曜日	8時30分～12時
		月・火・木・金曜日	14時～18時
涌谷町国保病院	☎43-5111	電話で予約受付できません。病院窓口で直接予約してください。また、当日実施はできません。	
		月曜日～金曜日	<table border="1"> <thead> <tr> <th>窓口受付時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時30分～16時</td> </tr> </tbody> </table>
窓口受付時間			
8時30分～16時			

▶ **接種可能な期間** 令和2年3月31日(火)まで

▶ **今年度の対象者**

- ・ 65歳(昭和29年4月2日～昭和30年4月1日生まれ)
- ・ 70歳(昭和24年4月2日～昭和25年4月1日生まれ)
- ・ 75歳(昭和19年4月2日～昭和20年4月1日生まれ)
- ・ 80歳(昭和14年4月2日～昭和15年4月1日生まれ)
- ・ 85歳(昭和9年4月2日～昭和10年4月1日生まれ)
- ・ 90歳(昭和4年4月2日～昭和5年4月1日生まれ)
- ・ 95歳(大正13年4月2日～大正14年4月1日生まれ)
- ・ 100歳以上(大正9年4月1日以前生まれ)

・ 60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある人

▶ **助成額** 3千円(助成額を超えた費用は自己負担。医療機関によって異なりますが、約4千円～5千円)

▶ **問い合わせ先**

健康課健康づくり班 ☎43-5111(内線525)

9月は 「がん征圧月間」!

日本対がん協会2019年度がん征圧スローガン
「がん検診 あなたを守る 新習慣」



日本人の2人に1人が「がん」になり、3人に1人が「がん」で亡くなる時代と言われています。「がん」からいのちを守るには、早期発見・早期治療が重要です。検診を受けて見つかる「がん」ほど、早期で見つかります。「具合悪いところがないから受けない」という声を聞きますが、症状がない時にこそがん検診が重要です。

今年度の町のがん検診は、胃がんや乳がん、肺がん、大腸がんの検診はすでに終了し、1月の子宮頸がん検診

のみです。がん検診の目的は、がんの早期発見・早期治療です。「要精密検査」となった場合は、精密検査を受けて初めて検診の意義があるといえます。精密検査の該当になり、まだ精密検査を受けていない人は早めに受診しましょう。「異常なし」だった人は来年度以降も継続して検診を受けましょう。

▶問い合わせ先

健康課健康づくり班 ☎43-5111(内線534・523)

医療用ウィッグ購入 費用を助成します!

《対象者》

①涌谷町に住所を有する人②がんと診断され、その治療を受けた人、または治療中の人③がんに伴う脱毛で、就労や社会参加などと治療の両立に支障が出る人、または出る恐れのある人④過去に涌谷町・都道府県・他市町村でウィッグ購入に係る経費の助成を受けていない人

《対象物》

平成31年4月1日～令和2年3月31日に購入した全頭用ウィッグ本体の購入経費。部分ウィッグ、付属品やケア用品、購入のために要した郵送料などは対象外。

《助成額》

対象者1人につき、購入経費の全額(2万円を上限とします)。対象者1人につき、1回限りの助成。

《申請に必要なもの》

①涌谷町がん患者医療用ウィッグ購入費助成事業申請書②がん治療を受けた(または受けている)ことを証明する書類(治療方針計画書など)③ウィッグ購入にかかわる領収書(購入日、品名、金額の記載があるもの)④助成金の振込先通帳(写し)⑤印鑑。

《申込方法》

必要な物を揃え、下記の問い合わせ先窓口に申請してください。

《問い合わせ・申し込み先》

健康課健康づくり班

☎43-5111(内線534・523)



広告

—— 全国の処方箋受付けます ——

〈薬の一包化いたします〉

(株) アサヒ薬局

涌谷本店 ☎0229(42)2035 FAX 0229(42)2107

南郷店 ☎0229(58)3993 FAX 0229(58)3992



「言葉が遅い気がする」「育て方に自信が持てない」「落ち着きが無く困っている」など、気軽ににご相談ください。

専門の相談員がお話を伺い、お子さんの発達をみながら方法を一緒に考えていきます。

▼日時 10月29日(火)

①9時②10時30分

▼場所 涌谷町町民医療福祉センター 集団検診室

▼対象 就学前のお子さん

▼利用料 無料

▼申込方法 10月15日(火)までお申し込みください。

▼問い合わせ先 健康課健康づくり班 ☎43-5111

(内線525)

わくや元気アップ教室

わくや元気アップ教室は運動や栄養の基本を学び、楽しく仲間づくりをしながら、自分にあった健康づくり行動を習得する教室です。健康運動指導士や栄養士などのサポートを受け、元気な体づくりと一緒にしてみませんか。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

▼日時 10月7日(月)

9時30分～11時30分

▼内容

▽講話 健診結果を活かしてより良い食習慣を！(栄養士)

▽運動 お腹引き締めエクササイズ(健康運動指導士)

▼場所 涌谷町町民医療福祉センター 研修ホール

▼対象 住民

▼参加費 無料

▼持参物 筆記用具、水分補給用の飲み物、タオル、運動靴、動きやすい服装

▼申込方法 左記まで電話でお申し込みください。

▼問い合わせ先 健康課健康づくり班 ☎43-5111

(内線525)



婦人科の診療日

▼日時 9月13日(金) 27日(金)

▼診療時間 9時～12時

▼受付時間 11時30分まで

▼問い合わせ先

涌谷町国保病院

☎43-5111(内線102)

子ども健康カレンダー

対象者には通知しますが、日時を確認の上、お越しください。

母子健康手帳の交付は随時行っています。妊娠がわかった場合、早めに交付を受けてください。交付を受ける場合は、事前に電話などでご連絡ください。

健診・相談名	受付日時	対象者	場所	相談内容
7ヵ月児育児相談	9月12日(木) 9:30～9:45	平成31年1月生 2月生	町民医療福祉センター	身体計測、初期離乳食指導、離乳食試食
1歳6ヵ月児健康診査	9月10日(火) 13:00～13:15	平成30年1月生 2月生		身体計測、健康相談、内科診察、歯科診察(歯ブラシ持参)
3歳児健康診査	9月11日(水) 13:00～13:15	平成28年1月生 2月生		身体計測、健康相談、内科相談、尿検査、聴覚検査、歯科診察(歯ブラシ持参)、塩味噌汁試食

▼問い合わせ先 健康課健康づくり班 ☎43-5111

(内線525)

東洋医学外来だより

第58回「五臓のはたらき」脾

西洋医学の「脾臓」の働きは、血液中の古くなった赤血球を壊し新しい血液を作るための成分を取り出したり、血液を蓄えたり、様々な病原体から身を守る免疫細胞を作り出します。東洋医学では「脾臓」ではなく「脾」といいます。はたらきは飲食物からエネルギーや体液を作り出し、それを「肺」へと運び、「肺」のはたらきとともに全身へと輸送します。それだけではなく、全身の血液を管理し、血液が脈の外へあふれないようにもしています。

悩などです。一般的な症状としては、食欲がない・食量量の減少・飲食物の味がはつきりしない・食後にお腹が張る・痩せる・軟便または水様便・排便の回数が多い・両腕両足の無力感・疲れやすい・息切れしやすい・ものを言うのもおっくう・顔の色が黄色くなるなどがあります。

次回はこの脾気虚を改善するためのツボ、漢方薬、食べ物など具体的な養生方法を紹介します。

東洋医学外来

医師 関 隆志

鍼灸師 菊谷 大亮

「脾」の変調の例を一つ挙げます。「脾」を動かすエネルギーが十分にあると、主要なはたらきの一つである飲食物の消化・吸収・輸送ができます。しかし、そのエネルギーが足りず、「脾」のはたらきが弱まると正常なはたらきができず、さまざまな症状が出てきます。この状態を「脾気虚」といいます。主な原因は暴飲暴食、不規則な食事、働き過ぎ、疲労、病後、生まれつき「脾」が弱い、精神的な苦

〈東洋医学外来診療案内〉

- ▶ 毎週水曜日午前・木曜日午後 担当 関 隆志 医師
- ▶ 第1・3月曜日 担当 堤 祐介 医師
- ▶ 毎週月曜日～金曜日 担当 菊谷 大亮 鍼灸師
- ▶ 診療は予約制です。
- ▶ 診療予約・問い合わせ先 ☎0229-43-5111(内線102)





かるがるプラザ・ホップ2期生参加者を募集します

一般介護予防事業で、生活機能や心身機能の低下を早期に発見するとともに、要介護状態にならないようにするため、リハビリの専門職が運動を指導します。

▼期間 10月18日(金)

令和2年3月6日(金)の期間中の毎週金曜日(全20回を予定)

各回10時15分～11時45分

▼申込締切 9月13日(金)

▼場所 涌谷町国民医療福祉センター研修ホールなど

▼対象 町内在住の65歳以上で要介護認定を受けておらず基本チェックリストに該当する人。基本チェックリストで生活機能や心身機能の低下を確認します。追加募集人数は10人程度です。

▼参加費 ①回数券1回300円(5枚つづり)で1500円の回数券を購入できます②スポーツ保険料金1200円+手数料324円を頂きます。

いずれも参加決定後に集金します。

▼申込方法 福祉課包括支援班に電話で申し込みの上、来

所していただき、基本チェックリストに回答していただきます。チェック結果は、後日連絡します。

▼その他 リハビリテーション科では、退院後の体力に不安がある、最近転びやすくなった、筋力が低下した、運動経験が無い、運動が長続きしない、持病があるが運動したいという人たちに對して、私たちリハビリ専門職がお手伝いします。従来のかかるプラザとは異なります。詳細はお問い合わせください。

▼問い合わせ先

福祉課包括支援班
☎43-5111
(内線524・554)



リハビリ室開放デーを開催

涌谷町国保病院のリハビリ室を公開します。広くリハビリテーションがどのようなものなのか理解してもらうため、地域の皆さんと交流を深めたいと思います。

▼日時 9月4日(水)

9時～11時40分
受付開始 8時50分

▼場所 涌谷町国保病院リハビリテーションセンター(整形外科隣)

▼内容 体力測定、リハビリ体験(物理療法、車椅子・足こぎ車椅子駆動、作業体験①)、リハビリ体操②、福祉用具、リハビリ室の見学、流動食・補助食品試食、リハビリ紹介コーナー、センター長の為になるミニ講話(センター長に会いに来てください)、マジックショー

▼参加費 無料

▼持ち物 動きやすい服装、運動靴、飲み物

▼申し込み 不要

▼問い合わせ先 涌谷町国保病院リハビリテーション科
☎43-5111(内線636)



①折り紙を使ったちぎり絵の作業療法体験



②理学療法士が教えるタオルを使った簡単なリハビリ体操

広告

広報わくやに広告を掲載しませんか？

「広報わくや」に掲載する広告を募集します。広告枠はこの枠と同じ縦4.2cm、横8.5cm、1枠あたりの掲載料は5,000円になります。

掲載希望の方はご連絡ください。

企画財政課 企画班 ☎43-2112

広告



夜勤職員募集
グループホーム後楽庵

(認知症対応型共同生活介護)

- ・16時～翌朝10時の勤務
- ・65歳未満の方、正職員採用あり
- ・パートの方の勤務は相談に応じます

▶問い合わせ先 0229-25-9188 NPO法人ひまわり 担当 長谷

涌谷第一小学校PTA

夏休み親子ふれあい作品展

夏休みに、親子一緒に制作した作品を展示します。
どの作品も、工夫が凝らしてある力作ぞろいです。

▶日時 9月1日(日)～9月14日(土)(水曜日休館)
9時～16時30分(最終日は11時まで)

▶場所 くがね創庫

▶入場料 無料

▶問い合わせ先 くがね創庫 ☎43-6066



写真は昨年(2023年)の展示作品です

読書の秋を楽しみませんか？

涌谷公民館図書室「ワクワク来ぶらり」

読書の秋。本を通して、読書の楽しさを感じませんか？
「ワクワク来ぶらり」でお待ちしています。

▶利用時間 10時～18時

▶休室日 毎週水曜日、年末年始、特別整理期間(不定期)

▶今月おすすめの1冊

「傲慢と善良」辻村深月・著

婚約者・坂庭真実が忽然と姿を消した。その居場所を探するため、西澤架は、彼女の「過去」と向き合うことになる。生きていく痛みと苦しさ。その先にあるはずの幸せとは—

▶問い合わせ先 涌谷公民館図書室 ☎25-5501

合同作品展

袋物作りを楽しむ会・絵手紙を楽しむ会

袋物は主に布を再利用して作った小物やバッグなどを、
絵手紙は思い思いに描いた作品をコラボして展示します。

▶日時 9月22日(日)～10月5日(土)(水曜日休館)
9時～16時30分(最終日は15時まで)

▶場所 くがね創庫

▶入場料 無料

▶問い合わせ先 くがね創庫 ☎43-6066



すばらしい涌谷を創る運動

町民のつどいを開催します

すばらしい涌谷を創る協議会では、明るく住みよいまちづくりを目標に花いっぱい運動やクリーン・ボランティアなどの活動を推進しています。

すばらしい涌谷を創る運動の一環として、今年度も町民のつどいを開催します。

お誘い合わせの上、ご参加ください。

▶日時 9月17日(火)10時30分～12時

▶場所 涌谷町役場大会議室

クリーン・ボランティアを募集

▶日時 9月28日(土)9時集合(雨天中止)

▶場所 涌谷公民館

▶内容 1時間程度ゴミ拾いを行います

▶問い合わせ先 すばらしい涌谷を創る協議会事務局
生涯学習課生涯学習班 ☎43-3001

連載—涌谷の歴史・文化をたずねて— 六十六、遺跡について

私たちが生活している周りには遺跡が多数あります。多くは地中に埋もれているため、普段目にする機会は少ないのですが、長根地区にある国史跡長根貝塚のように、貝層や縄文土器が間近に見られる遺跡もあります。



白くなった貝殻が広がる畑

そもそも遺跡とは昔の人々が暮らしを営んだ結果、残された痕跡のことです。集落や貝塚、城館、お墓などが遺跡にあたります。

遺跡には構成する2つの要素があり、それが遺構と遺物になります。遺構は、人々が生活するために建てられた

家・建物の跡や貝塚に残された貝層などのことを表します。一方、遺物とは、人々が生活するために使われた道具のことで、土器や石器、木製品、鉄製品などのことを表します。なお、化石や近頃捨てられたものは含まれません。これら遺構と遺物を総称して、遺跡は構成されています。

このことから、遺物が拾える場所を手がかりにして、遺跡は登録されています。

教育委員会ではその遺跡がある場所に角柱や説明板を設置して、遺跡の周知を図っていますが、全ての遺跡に立てられている訳ではありません。町内には現在確認しているだけで、七十二ヶ所の遺跡があります。

遺跡内で工事を行う場合は遺跡が壊されてしまう可能性があるため、事前に発掘調査が必要となる場合があります。計画を決めた段階でお早めに生涯学習課文化財保護班までご連絡をいただくようお願いいたします。

(生涯学習課二瓶雅司)

-The gold of WAKUYA-

黄金人

小林功さん

短台区
薄屋茅功代表



そこにあり続けるものを創る

県道61号線と県道29号線のT字路の交差点を吉住方面に曲がり200mほど進んだあたりで、目を引く建造物が左手に現れます。歴史の教科書でお馴染みの堅穴式住居です。

制作したのは、茅葺作家・茅葺師の小林功さん。現在登米市豊里に在住し、猪岡短台字千刈田二にある工房で茅葺のふき替えや、本当の意味で再生可能な茅・葦・薄などを材料とする犬小屋やポストなどの小物・アート作品を創作する「薄屋茅功」を営みます。

生まれ育った静岡県で、トラクタードライバーとして勤務していた28歳のとき、「40歳50歳までハンドルを握りたくない、ドライバーとしてすべきことはやり尽くした」という思いがわき起こ

るとともに、温室効果ガスを生む仕事をしてきたことから環境問題について考え始めました。そのとき、静岡県が茅の産地であり、再生可能な材料であることを知ったことで、茅葺の道に進むことを決意。そして、石巻市の茅葺屋根工事の会社に就職し全国の文化財のふき替えや補修の現場を15年間渡り歩いてきました。「茅を切ったり運んだり、炊事や掃除など。先輩や上司に基礎から一つずつ段階的に教えてもらい、一通り覚えるまでに5年はかかりました。また、ふき替え現場では、物言わずとも茅が教えてくれます。屋根は、昔の職人がどのようにふいたのかを物語り、その技術を教えてくれました。ちなみに、屋根ふきの技術習得よりも人間の要望に合わせる方が難しい」と笑みを浮かべます。

平成30年5月に、15年間勤めた会社から独立し「薄屋茅功」を起業。涌谷町のアトリエを起点に個人や店舗、寺院などのほか、全国から要請を受けて職人として、作家として活動。「茅葺を未来になくため、ふき替えや補修だけではなく、若い世代に向けた茅葺の犬小屋など販売や、子どもたちが茅葺が体験できるモニュメントをイベントに出品するといった活動に重きを置いていきたい。今後は、作家としての経営を安定させ、3年後を目標に弟子を採り、きちんと向き合いながら茅葺師としてしっかりと育てていき、若い世代に茅葺を伝えていきたい」。茅葺の未来のため、業界に一石を投じようとしています。その現れの一つが、堅穴式住居です。

また、「これから手がけていくものが、その町の景観として根付いていけば。そして、茅葺を通じて、そこに住む人がわくわくしていきけるように」という夢を抱きます。自分以外すべての人を師であり、オーダーメイドすべてが学びの機会とする小林さんは茅葺の創作を続けていきます。

戸籍の窓

7月1日～31日届出分

(行政区順 敬称略)

誕生日おめでとう

(男の子2人/女の子4人)

あかちゃん	行政区
杉浦 有 俐	2の2区
及川 玲 奈	5の1区
及川 一 華	5の1区
佐藤 迅	9の2区
高橋 滯 愛	9の3区
大友 結 愛	小里区

お悔やみ申し上げます

(男性7人/女性9人)

氏名	年齢	行政区	氏名	年齢	行政区
石川 きよ	90	3区	三浦 トヨ子	88	城山区
佐々木 徹	80	5の1区	阿部 清子	100	城山区
相澤 賢一	70	11区	鈴木 ゆきよ	94	上郡1区
勝又 ヨウ子	79	下小塚区	伊藤 清一	95	長根区
小山 良一	82	下小塚区	神尾 和江	52	小里区
荒 良子	85	上小塚区	平 ちよ子	78	小里区
森 俊彦	96	下町区	齋藤 栄一	69	太田区
寄内 みゑ子	90	城山区	内藤 勝雄	77	太田区

掲載を希望しない場合は、届け出の際に町民生活課総合窓口班にその旨をお伝えください。

涌谷町の人口

7月31日現在()内は前月比

人口と世帯			令和元年7月の動き	
人口計	16,058人	(-20人)	出生 7人	死亡 22人
男性	7,839人	(-13人)	転入 25人	転出 30人
女性	8,219人	(-7人)	今年の出生および死亡	
世帯数	6,036世帯	(-2世帯)	出生 42人	死亡 144人

休日診療当番医

日程	医療機関名	電話番号	日程	医療機関名	電話番号
9月1日(日)	東泉堂病院(涌谷町)	☎42-3333	9月16日(月)	小牛田内科クリニック(美里町)	☎32-5959
9月8日(日)	袖井クリニック(美里町)	☎31-1188	9月22日(日)	高城利江整形外科(美里町)	☎31-1230
9月15日(日)	涌谷町国保病院(涌谷町)	☎43-5111	9月23日(月)	米谷医院(涌谷町)	☎44-1133
受診の際には保険証を持参してください。診療時間は9時～17時30分です。当番医は変更になる場合があります。			9月29日(日)	宮野内科医院(涌谷町)	☎43-5031

子ども救急医療情報

石巻市夜間急患センター	電話番号	0225-94-5111
	夜間診療時間	月～金：19時～午後10時
		土曜：18時～翌朝7時 日曜日・祝日：18時～翌朝6時(翌日が祝日の場合は翌朝7時まで)
宮城県子ども夜間安心コール 夜間の子どもの急な発熱・急なケガのときの電話相談です。診療は行いません。	電話番号	プッシュ回線の固定電話・携帯電話から：#8000 プッシュ回線以外の固定電話・PHSから：022-212-9390
	相談時間	毎日午後7時から翌朝8時まで



黄金人

吉田了太さん

箕岳区
黄金山牧場 新規就農実習生



羊のためになる生活を

15歳で社会に出た吉田了太さん。「若いから仕事ができないと言われたくないという一心で、誰よりも率先して働きました」。

自分の飲食店を持つことを目標に、さまざまなアルバイトをかけもちし、知識や技術を身につけていきました。

26歳の時、飲食店を持つために必要な経験として、生まれ育った仙台市から愛媛県に移住しました。勤務先の事業は順調に拡大。しかし、時を同じくして東日本大震災が発生しました。津波で被災した母親の実家の復旧を手伝う中で、それ

までの暮らしに疑問を感じ、退職。

感じる疑問が何なのか。車で全国各地を巡りながら宮城県に戻り、宮城県に戻ってからも片道分の旅費にしかならない全財産を持ち北海道に旅に出ました。手持ちが底をついたところで、帯広市の大農家にお願いし働けることになりました。そこで3カ月間の暮らしを通して「やっぱりこれだ」と自然を相手に働く農業の楽しさを知りました。

宮城県に戻り、いくつかの農政部門に掛け合っただけのもの、資金や土地、経験がないということも理由に就農は叶いませんでした。そこで、原点からやり直そうと飲食店を開業。併せて、さまざまな一次産業の現場に顔を出し、関係を築いていきました。ジビエにも興味があったため、平成30年夏に、狩猟免許を取得。その狩猟免許の試験会場で、涌谷町の黄金山牧場の駒米さんと出会いました。喫煙所の10分の出会いから牧場経営に興味をわき、牧場見学に行くことになりました。「見学に来たはずなのに、羊飼いにならないかとずっと猛烈なラブコールを受けてるだけで」と見学した日を振り返ります。しかし、そのラブコールで「やるしかない」と決意。羊飼いを検討していた際、当時婚約中だった吉田さんの奥さんは、「羊っておいしいの？食べていけるの？やる気があるならやってみれば」と一言。その言葉を応援と受け止め、志を高くしたと話します。

「羊の飼い方にはいろいろな方法があり、十人十色の育て方・利益の上げ方がある。そこに面白味を感じた。お金がないのやり方、少しずつでも利益を出せるやり方がある。自然を相手に最低限食っていければという自分の理想に近づくことができる」。

実際の研修生の日々は、思っていたとおりの毎日。週5日間、羊と生活を共にしています。「研修期間は2年間。2年後の独立を目指している。独立後は、羊を健康に育てることに専念したい。羊ありきで直接羊のためになることはなんでもやっていきたい」。生産者として自然と向き合う喜びが、羊を抱く表情にあふれ出ます。



広報わくや

令和元年9月1日

通算770号

【編集・発行】

涌谷町 企画財政課

企画班

〒987-0192

宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153番地2

TEL 0229-43-2112

FAX 0229-43-2693

E-mail gr-kikaku@town.wakuyaminyagi.jp

URL http://www.town.wakuyaminyagi.jp

【印刷】

株式会社印刷所